

KLウォール
協議会

KLウォール

施工マニュアル

KL
WALL

KLウォール協議会

1

基礎コンクリート

- ▼製品重量や背面土転圧荷重等受けるので、十分な養生をする。
- ▼基礎コンクリート天端は、調整モルタル厚(20mm)を考慮して定め、表面を平らに仕上げる。

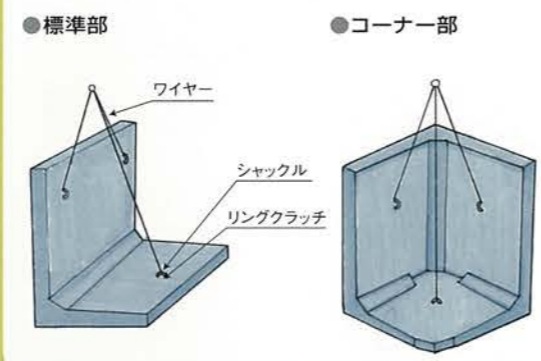
2

製品搬入

- ▼製品の荷降ろし、据付け等に使用するクレーン車は、製品重量、接近距離等を参考にして、適切な機種を選定する。
- ▼仮置場のスペースを確保する。



製品の吊下げ方



3

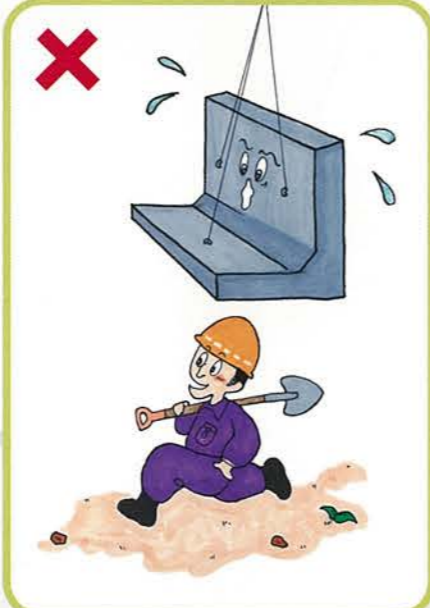
吊金具、ワイヤーの点検

- ⚠金具、シャックル等は、定められたものを使用する。
- ⚠吊金具は、毎日使用する前に、変形、磨耗、亀裂等を点検する。異常があるものは使用しない。

4

吊下げ時の注意

- ▼3点吊りを標準とし、吊上げ時地上より少し吊上げ、異常がないことを確認する。
- ⚠吊上げた製品の下へは入らない。

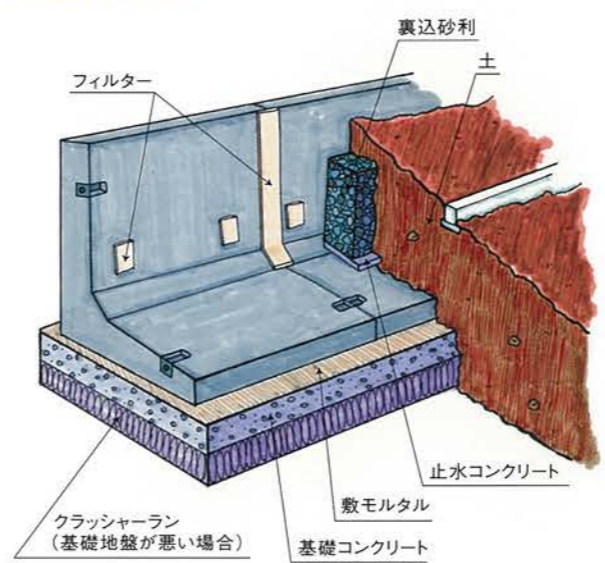


5

現場でのストック

- ⚠製品の重心が前壁側にあるので、平らな地表面の場所で背面側に少し傾けて仮ストックする。

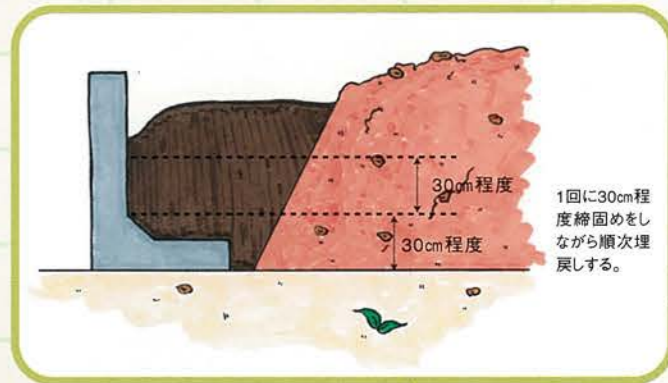
標準施工定規図



6

据付け

- ▼あらかじめ基礎コンクリートの上面に、前壁位置のスミ入れを行う。
- ▼調整モルタルは、均等の厚みになるように定規でならす。
- ▼製品に衝撃を与えないよう静かに所定位置に降ろす。
- ▼接続金具を取付ける。
- ▼擁壁背面の土砂が流出することを防止するために、フィルターを取付ける。



7

埋戻し

- ▼埋戻し厚は約30cm程度とし、締固めしながら平坦に敷均す。
- ⚠埋戻し時は、重機の接近走行はしないようにする。
- ▼雨水、地表面排水には十分配慮する。地表面は、原則として前壁を反対方向に排水勾配を設ける。

